

幼 児 教 育 ア ド バ イ ザ ー 設 置 要 綱

(目的)

第1条 この要綱は、本市全体の幼児教育・保育の更なる質の向上に資する指導・助言等を幼稚園、保育園、認定こども園等に行うため、幼児教育・保育の専門的な知見や豊富な実践経験等を有する幼児教育アドバイザーの設置について、必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 幼児教育アドバイザーは、市内の幼稚園、保育園、認定こども園等の要請に基づき訪問し、以下の内容等について、指導・助言等を行う。

- (1) 幼児教育・保育の内容や指導方法等に関すること。
- (2) 保育者の資質向上に関すること。
- (3) 幼児教育・保育の研修に関すること。
- (4) 保護者支援、組織マネジメント等に関すること。

(委嘱)

第3条 幼児教育アドバイザーは、幼稚園、保育園、認定こども園等の要請内容に応じて、次のいずれかの経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。

- (1) 幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験を有する者
- (2) 幼児教育施設等における一定の職務経験や研修履歴等を有する者
- (3) 幼児教育施設における公衆衛生や危機管理、児童心理、特別支援教育等について専門性を有する者
- (4) その他教育委員会が幼児教育アドバイザーとして適切と認めた者

(経費)

第4条 幼児教育アドバイザー設置に必要となる経費は市が負担する。

(庶務)

第5条 幼児教育アドバイザーに関する庶務は、教育委員会事務局学校教育部指導第一課及び教育企画課において処理する。

附 則

この要綱は、平成28年9月15日から施行する。

幼児教育アドバイザー実施要領

1 目的

幼児教育アドバイザーは、本市全体の幼児教育・保育の更なる質の向上を図るため、幼稚園、保育園、認定こども園等を訪問し、各種相談業務や支援、指導・助言等（以下「指導・助言等」という。）を行う。

また、幼稚園、保育園、認定こども園等からの要請に応じて、園内研修講師を務める。

2 対象

市内の幼稚園、保育園、認定こども園等

3 内容

幼児教育アドバイザーは、市内の幼稚園、保育園、認定こども園等の要請に基づき訪問し、以下の内容等について、指導・助言等を行う。

- (1) 幼児教育・保育の内容・指導方法等に関すること。
- (2) 保育者の資質向上に関すること。
- (3) 幼児教育・保育の研修に関すること。
- (4) 保護者支援、組織マネジメント等に関すること。

4 訪問日時

月～土曜日の9時～17時を原則とする。

5 訪問者

市内の幼稚園、保育園、認定こども園等の要請に基づく幼児教育アドバイザー
※その他幼児教育に係わる担当課職員も同行する場合がある。

6 実施方法

- (1) 訪問を要請する幼稚園、保育園、認定こども園等は、幼児教育アドバイザー訪問依頼書（様式1）を教育委員会事務局学校教育部指導第一課（以下「指導第一課」という。）に提出する。
- (2) 訪問依頼書に基づき、訪問を要請する幼稚園、保育園、認定こども園等と指導第一課・こども未来局保育指導課及び幼児教育アドバイザーが、事前打ち合わせを行い、訪問を実施する。
- (3) 訪問実施後、訪問園は、幼児教育アドバイザー訪問に係る報告（様式2）を指導第一課に提出する。

7 経費

この事業を実施するために必要となる次の経費は、本市の支出基準に基づき市が負担する。

- (1) 報償費（幼児教育アドバイザー講師謝金）
- (2) 普通・特別旅費（幼児教育アドバイザー園訪問）
- (3) 保険料（傷害保険：スポーツ振興センター未加入幼児分
スポーツ安全保険：幼児教育アドバイザー）

8 委嘱期間

委嘱を受けた日から1年間とする。ただし、年度は超えないこととする。

9 その他

この事業を通して知り得た事は、市は原則として公表しない。ただし、本市全体の幼児期の教育・保育の質の向上を図る上で役立つ情報は、個人が特定できる内容を除き、関係機関の承諾を得た上で、公表・周知する。

様式 1

平成 年 月 日

広島市教育委員会学校教育部
指導第一課長宛

(申請者名)

住 所

園・校 名

園・校代表者名

幼児教育アドバイザー訪問依頼書

幼児教育アドバイザーの派遣を下記のとおり希望し、依頼します。

記

1 園(学校)の概要(※要覧やパンフレット等の資料がある場合は一緒に送付してください。)

園・校名	
職員数	
園児・児童数	

※職員数及び園児・児童数は申請日現在の人数

2 訪問希望内容

希望内容 <u>※希望のテーマに○をつけ、内容をできるだけ具体的に記入してください。</u>	<テーマ> 1 教育・保育の内容・支援方法 6 組織マネジメント 2 保育者の資質向上 7 幼保小連携 3 特別支援教育 8 発達や学びの連続性 4 幼児教育・保育の研修 9 その他 () 5 保護者支援		
	<内 容> ※派遣を希望するアドバイザーが決まっている場合は、この欄に記入してください。		
対象人数	職員 () 人、園児 () 人、保護者 () 人、その他 () 人 ※園児のうち保険未加入者 () 人		
希望日時	第1希望	第2希望	第3希望
	月 日 () : ~ :	月 日 () : ~ :	月 日 () : ~ :

3 その他 ※ご要望がありましたらご記入ください。

--

4 連絡担当者名

担当者 職・名前	職 () / 名前 ()
連絡先 園の電話番号☎ メールアドレス	

様式 2

平成 年 月 日

広島市教育委員会学校教育部
指導第一課長宛

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

園・校名		園・校 代表者氏名	
研修テーマ			
日 時			
幼児教育アドバイザー 氏 名			
訪問内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>訪問内容・参加者の様子等 写真等があれば添付してください。</p> </div>		
訪問成果			
(その他) 幼児教育アドバイザー 訪問に関する感想等			

平成29年度 幼児教育アドバイザー一覧

【主任・園長・校長・指導主事経験者】

氏名	経 験 等
井手 隆子	元広島市保育園長
井原 貴子	元広島市教育委員会指導第一課主任指導主事、元広島市立幼稚園長、元広島幼稚園長
馬本 和子	元広島市保育園長
兼森 訓子	元広島市保育園長
財満 由美子	元広島市教育委員会指導第一課主任指導主事、元広島市立幼稚園教諭、元広島大学附属幼稚園副園長
佐々木 尚美	元広島市立幼稚園長、元広島文化学園大学学芸学部子ども学科教授
高木 淨美	新規採用幼稚園教諭研修講師（広島市立）、元広島市立幼稚園長
津丸 早苗	元広島市保育園長
中山 千恵	元広島市教育センター指導主事、元広島市立幼稚園長
名和原 恵理	元広島市教育センター主任指導主事、元広島市教育委員会指導第一課主任指導主事、元広島市立幼稚園長
古澤 正憲	元広島市立小学校長、元広島市小学校教育研究会特別支援教育部会部会長
堀内 徳子	元広島市教育委員会指導第一課主任指導主事、元広島市立幼稚園長
本多 一江	元広島市保育園長
真砂 浩子	新規採用幼稚園教諭研修講師（広島市立）、元広島市立幼稚園長
増田 美由紀	わらべうた講師、元広島市保育園主任保育士
宮崎 礼子	元広島市立幼稚園長
米川 恵美子	元広島市保育園長

【学識経験者】

氏名	経 験 等	専 門 分 野
柿岡 玲子	安田女子短期大学保育科教授	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育学 ・幼児期の環境教育 ・保・幼・小連携
竹内 吉和	三幸学園小田原短期大学保育学科講師 竹内発達支援コーポレーション代表	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育学 ・教育学 ・臨床心理学 ・教育心理学 ・子育て支援
七木田 方美	比治山大学短期大学部幼児教育科准教授	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児保健 ・乳幼児精神保健 ・障がい児保育 ・母子臨床 ・愛着形成支援

「幼児教育アドバイザー」はじめました！

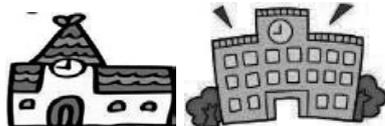
～ 平成29年度 幼児教育アドバイザー派遣案内 ～

広島市教育委員会

広島市教育委員会では、本市全体の幼児教育・保育の更なる質の向上を図るため、幼児教育・保育の専門的な知見や豊富な経験等を有する「幼児教育アドバイザー」を派遣します。

訪問先

幼稚園、保育園、認定こども園
はもちろん、小学校へも訪問します。



訪問日時

月～土曜日の9時～17時
を原則としています。
(なお、訪問時間は相談に
応じます。)

対象

教職員・保育者・保護者 等

費用

幼児教育アドバイザー訪問
に費用はかかりません。



【幼児教育アドバイザーの具体的な活用方法】

★講演会 ★研修会 ★行事などで！

- (テーマ) ○教育・保育の内容・支援方法 ○保育者の資質向上
○特別支援教育 ○幼児教育・保育の研修 ○保護者支援
○組織マネジメント ○幼保小連携 ○発達や学びの連続性 等

「幼児教育アドバイザー」の派遣手続きは簡単！！

① 希望の日時や研修内容、講師などを「幼児教育アドバイザー訪問依頼書」に記入し、FAX・メールでご提出ください。

② 訪問終了後、「幼児教育アドバイザー訪問実施報告書」をFAX・メールでご提出ください。

「幼児教育アドバイザー訪問依頼書」、「幼児教育アドバイザー訪問実施報告書」は教育委員会のHPからダウンロードできます。

訪問日・訪問者が決定したら教育委員会からお知らせします。

「幼児教育アドバイザー訪問依頼書」等のダウンロードはこちらから
広島市ホームページ > 子育て・教育 > 教育委員会 > 幼児教育アドバイザー派遣のご案内

【お問い合わせ先】

広島市教育委員会指導第一課 担当：主事 東

電話番号：(082) 504-2784

FAX番号：(082) 504-2142

E-mail: kyo-sido1@city.hiroshima.lg.jp

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

園・校名	園・校 代表者氏名
研修テーマ	～新米ママ・子育て真っ最中のママへ～ 「イライラしない子育てとは…」
日時	
幼児教育アドバイザー氏名	七木田 方美
訪問内容	<p>○ 2歳児未就園児親子対象の子育て支援の活動を見させていただきました。</p>    <p>○ 子育て支援終了後、七木田先生より、今後、本園の子育て支援をどのように進めていけばよいのか、毎日イライラしながら子育てをしている母親または、子育てに疲れている母親に対してどのようにアドバイザーをすればよいのかなど、七木田先生よりお話を聞かせていただきました。</p>    <p>○ 子育て支援活動の中で、お母さんの口からよく出る言葉は、「怒ってはいないってわかっている、イライラしてしまう」「毎日疲れる」という言葉であったため、今回、七木田先生に子育て中のお母様がいかに楽な気持ちで子育てができるのか?ということを私たちが伝えていくために、多くのアドバイザーをしていただいた。</p> <p>○ 七木田先生からは、子育て中のお母さんへの声掛けとしての魔法の言葉や、配慮が必要な子どもをもつ母親への対応、子育て支援が終わり帰る間際の「ドアノブコメント」や活動中の「マザリーズ」などを取り入れるとより良い活動ができるのではないかとアドバイザーをいただき、次回の子育て支援活動で早速母親への対応や、マザリーズ等を取り入れるようにした。お母さんも良い笑顔で帰っていかれた。</p> <p>○ 今回七木田先生には、私たちが悩んでいたことをたくさんアドバイザーにいただき、早速にも、子育て支援スタッフと共に実践させていただきました。子育て中のお母様方は余裕がなく、どこかしら、イライラしてしまいがちで、そう、しっかりと話を聞いて共感してあげることが大切ということが改めて理解できたように思います。次回も七木田先生に子育て支援のアドバイザーをお願いしたいと思います。ありがとうございます。</p>
訪問成果	
(その他)	
幼児教育アドバイザー訪問に関する感想等	

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

園・校名	園・校 代表者氏名
研修テーマ	特別支援教育 (気になる子への対応について)
日時	
幼児教育アドバイザー氏名	竹内 吉和
訪問内容	<p>午前： 12クラス (0～6歳) より、各1名気になる子について事前に記載した相談シートを基に子どもやクラスの様子を見て回られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの観察 ○ 担任より状況等について聞き取り ○ 子どもの描いた絵や製作物、部屋の様子から全園児名簿に気になる子どもをチェック 等 <p>夜： 園の職員へ「気になる子への対応について」 講義を行って貰った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 疑似体験や語り合いを交えた講義 ○ 自園の子どもの絵を解説しながら子ども理解に繋げた助言 
訪問成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気になる子について、保護者の了解の有無に関係なく相談できた。 ○ 相談シートに記入することで、クラスの子どもにも目を向け考えたり職員同士で悩みを話し合えたりした。 ○ 専門の先生に実際に子どもを見て、助言を貰えることはもちろんだが悩みやしんどさについて共感して貰えたことが、職員にとっても気持ちの楽になったようである。 ○ 疑似体験により子どもの気持ちを理解し自分の支援の振り返りができた。 ○ 体験型の講義で分かりやすく、即、実行できると感想が多かった。 ○ 自園の子どもの話を交えて貰うことで、講義と実際が繋がりが、より研修が生かされた。 ○ 臨時、嘱託、正規職員を含め、ほぼ全職員で同じ研修を受けたことで、共通認識共に語り合いながら保育を深めていくことが、今後期待できる。
(その他)	
幼児教育アドバイザー訪問に関する感想等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の受けたい研修内容と専門の先生のマッチングが容易にでき、研修方法の希望も聞いて貰え感謝している。今後もお願いしたい。

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

園・校名	園・校 代表者氏名	
研修テーマ	〇 保護者支援 「幼児のひろば」における子育て等に係る相談対応等 〇 教育・保育の内容、支援方法 環境構成や教師の支援等についての指導助言	
日 時	中山 千恵	
幼児教育アドバイザー氏名	9:00～9:30 ・本日の「幼児のひろば」実施に係る事前指導 9:30～12:00 ・未就園児の遊びを観察するとともに、適宜、言葉かけを実施…(7) ・保護者に対する言葉かけや相談に応じたアドバイザーの実施…(1) ・未就園児に対する教諭の支援等についての観察 13:00～14:00 ・教職員に対して、環境構成や教師の支援等についての指導助言…(7)	 (7)  (1)  (7)
訪問内容		
訪問成果	〇 「幼児のひろば」実施後に環境構成や内容、教師の支援等について、高い評価をいただいたことで、成果を実感し、更に良質な教育実践に向け、職員の高まりがみられた。また、御助言を通じて、今後の実践に生かして行くための御示唆がいただけた。 〇 保護者からの相談に快く対応されたアドバイザーの適切なアドバイザーにより、保護者の不安や悩みが解消された。(アンケート結果より) 〇 子育ての悩みをもつ保護者自身に寄り添い、温かく受け止め、専門的なアドバイスをいただいたことで、「相談してよかった!」「早速家で実践していきます」という保護者の感想が聞かれた。また、保護者支援・職員への助言等を通してアドバイザーの的確で豊かな対応に多くのことを学ぶ機会となった。 〇 幼児のひろばの取組について指導助言をいただき、日々の実践を振り返り、成果を実感し、より質の高い教育実践に向け課題を捉える良い機会となった。	
(その他) 幼児教育アドバイザー訪問に関する感想等		

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

園・校名	園・校 代表者氏名	
研修テーマ	日々の保育活動から ～一年後の子どもの様子～	
日 時		
幼児教育アドバイザー氏名	佐々木 尚美	
訪問内容	1. 園児の遊びや学びの姿(朝の活動より) 参観 寒い冬の怪しいマラソン、戸外遊び(鬼ごっこ、縄跳び等々) 雨のため部屋での活動 けん玉、お手玉、パズル、お絵かき等々 2. 保育参観 作品展に向けての活動 5歳児 ペン立てづくり、組み紙づくり 影絵づくり 3. 平成29年度幼児教育指導者養成研修の研修内容の提供 4. 本日の保育 作品展について協議	
訪問成果	〇 昨年度の子どもの姿や教師の援助のあり方から、一年後の子どもたちの姿や教師の援助のあり方を見直す機会となった。今年度の生活発表会の取組を説明することで、より目指していることが明確になり、職員間の共通理解となった。 〇 教員の経験年数が1年目、3年目の先生達が、悩みながらも支え合う組織となっていて、ことに改めて気付かされ、園全体の教育の質が高まっていることを再認識する機会になった。各先生方の生き生きとした姿勢が子どもにも表れていたと言われた事は教師の励みとなった。 昨年同様の時期に来ていただけたことは大変よかったです。 「子どもたちは落ち着いて自分の目指す活動に黙々と取り組む姿が見られた。先生方も落ち着いて、子どもと先生方の信頼関係ができてきていることが伺える」と言っていたことが励みとなり、保育への活力につながっていくと感じました。 また、園長先生をリーダーとし、教職員がチームで仕事をしていることが一人一人に寄り添った教育につながっていると話されたことは、今後も大事に考えていきたい。私立の幼稚園として、こうした取組で勉強できたことは大変ありがたかったです。	
(その他) 幼児教育アドバイザー訪問に関する感想等		

文部科学省委託：幼児教育の推進体制構築事業

平成29年度 広島市幼児教育シンポジウム

～誰もが安心して子どもを育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」の実現に向けて～
実施要項【一次案内】

1 趣 旨
広島市では、幼児教育の更なる質の向上を図るため、平成28年度～平成30年度までの3年間、文部科学省から「幼児教育の推進体制構築事業」の委託を受け、教育委員会事務局とことども未来局が緊密に連携を図りながら、公立・私立の幼稚園、保育園等の各施設を巡回して指導・助言等を行う「幼児教育アドバイザー」の育成・配置や、幼児教育の拠点となる「幼児教育センター」機能の設置など、本市における幼児教育の推進体制を構築するための調査研究を行っています。つきましては、調査研究2年目に当たり、これまでの本市における取組状況や成果等を発表するとともに、参加者の皆様等と議論を深める機会として、シンポジウムを開催します。

2 主 催
広島市教育委員会

3 開催日時
平成29年11月30日(木) 10:00～15:45

4 会 場
JMSアステールプラザ(中ホール)
広島市中区加古町4-17 (082-244-8000)

5 参加対象
(1) 保育園・幼稚園・認定こども園・小学校の関係者
(2) 行政関係者
(3) 幼稚園教員等養成課程を置く大学の教員等
(4) 幼児教育・保育関係者
(5) 乳幼児の保護者等
※参加希望者が多数あり、会場の収容人数を越えるような場合は調整することがあります。

6 日程及び内容

9:20 10:00 10:15	受付	11:00	12:30 14:00	15:30
	＜事業説明等＞ 「広島市が目指す 幼児教育」 【教育委員会】	＜ディスカッション＞ 「幼児教育アドバイザーを 活用しよう」 【コーディネーター】 ゆうゆうのもり幼児園長 渡邊 英則 氏	＜昼食＞ 「幼児期の教育の質の向上を 目指して一改訂・改定のポイントを 理解しよう」 講師：名古屋学芸大学 教授 津金 美智子 氏	閉 会

※ 「事業説明等」「ディスカッション」「講演」のうち、1項目のみの参加も可能です。
※ 午前中は並行して、幼児教育アドバイザーに子育てに関する相談ができるコーナーを設けます。
※ 親子室及び保育休憩室を用意しています。



【講師紹介】
津金 美智子 氏 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部
子どもケア学科 教授
(前文部科学省初等中等教育局視学官)

○ 事業説明等
本市の幼児期の教育・保育の充実に向けた取組及び「幼児教育の推進体制構築事業」に係る調査研究の成果等についての発表を行います。

○ ディスカッション

本市の幼児教育アドバイザーは、研修講師等の役割にあわせ、教師や保育士等の保育についての相談や悩みへの対応、園の良さ(強み)を今後更に伸ばしていくことに焦点をあてたアドバイスをを行うなど、各園の姿容を評価し、教師や保育士等の教育・保育に対する意欲が高まるような助言等に努めています。その幼児教育アドバイザーを活用し、今年度、幼児教育・保育の質の向上に取り組みんでいる園が取組とその成果等について発表し、「ゆうゆうのもり幼児園長」渡邊 英則氏がコーディネーターとなり、ディスカッションを行います。

7 参加申込

平成29年11月17日(金)までに、FAXまたは電子メールにて、教育企画課までお申し込みください。参加申込書については、教育委員会ホームページからダウンロードできます。
◇広島市教育委員会ホームページアドレス◇
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1278402870287/index.html>

【FAX】

別紙「シンポジウム参加申込書」にご記入の上、広島市教育委員会事務局総務部教育企画課 (FAX番号 082-504-2509) まで送信してください。

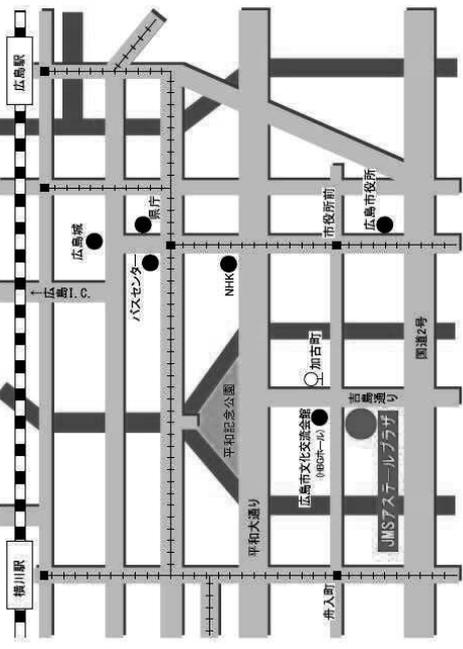
【電子メール】

別紙「シンポジウム参加申込書」にご記入の上、下の教育企画課アドレスへ送信してください。なお、メールの件名の最初に、必ず「【シンポジウム申込】」とご記入ください。
【教育企画課Eメールアドレス】 kyo-kikaku@city.hiroshima.lg.jp

8 問い合わせ先

広島市教育委員会事務局 総務部 教育企画課
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目4番21号
TEL:082-504-2496
FAX:082-504-2509

9 会場案内図



【JR広島駅からの交通手段】

- ◎ 市内電車利用の場合
広島港行(紙屋町経由) — 市役所前下車 (600m)
江波行一舟入町下車 (400m)
- ◎ バス利用の場合
広島バス 24番路線 吉営業所行または吉島病院行 — 加古町下車 (200m)
◎ タクシー利用の場合 約15分

平成29年度 広島市幼児教育シンポジウム

～誰もが安心して子どもを生き育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」の実現に向けて～



【日時】 平成29年11月30日（木）10時～15時45分

【会場】 JMSアステールプラザ（中ホール）

広島市中区加古町4-17

【主催】 広島市教育委員会 【定員】 500名

○【事業説明】 10：15～
「広島市が目指す幼児教育」

○【ディスカッション】 11：00～12:30
「幼児教育アドバイザーを活用しよう」

コーディネーター：ゆうゆうのもり幼保園長 渡邊 英則 氏

関東学院大学非常勤講師、國學院大学非常勤講師、
田園調布学園大学大学院非常勤講師
中央教育審議会（初等中等教育分科会教育課程部会
認定こども園教育専門部会）委員



○【講演】 14：00～15:30
「幼児期の教育の質の向上を目指して
—改訂・改定のポイントを理解しよう—」

講師：名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部 子どもケア学科
教授 津金 美智子 氏

- ・昭和53年度から平成21年度まで名古屋市立幼稚園教諭、愛知教育大学附属幼稚園教諭、名古屋市立幼稚園主任教諭、園長、名古屋市教育委員会の指導主事として勤務。
- ・平成22年度から文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局視学官を歴任され、平成27年度に退職。
- ・平成28年度からは名古屋学芸大学教授として着任。現在、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部附属子どもケアセンター長を併任。



日程・内容

平成29年11月30日（木） JMSアステールプラザ（中ホール）	
日程	内容
9:20～	受付
10:00～	開会
10:15～	【事業説明】「広島市が目指す幼児教育」
11:00～ 12:30	【ディスカッション】「幼児教育アドバイザーを活用しよう」 ○ コーディネーター ・ ゆうゆうのもり幼保園 園長 渡邊 英則 氏 ○ 発表園・校 ・ 学校法人青葉学園 青葉幼稚園 園長 米川 晃 氏 幼児教育アドバイザー 佐々木 尚美 氏 ・ 広島市立落合東幼稚園 園長 川崎 文子 氏 幼児教育アドバイザー 宮崎 礼子 氏 ・ 広島市立船越幼稚園 園長 國貞 祐子 氏 幼児教育アドバイザー 米川 恵美子 氏 ・ 広島市立川内小学校 校長 山田 明美 氏 幼児教育アドバイザー 井原 貴子 氏
14:00～ 15:30	【講演】「幼児期の教育の質の向上を目指して -改訂・改定のポイントを理解しよう-」 ○ 講師 ・ 名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部 子どもケア学科 教授 津金 美智子 氏
15:30～	閉会

参加される皆様へお願い

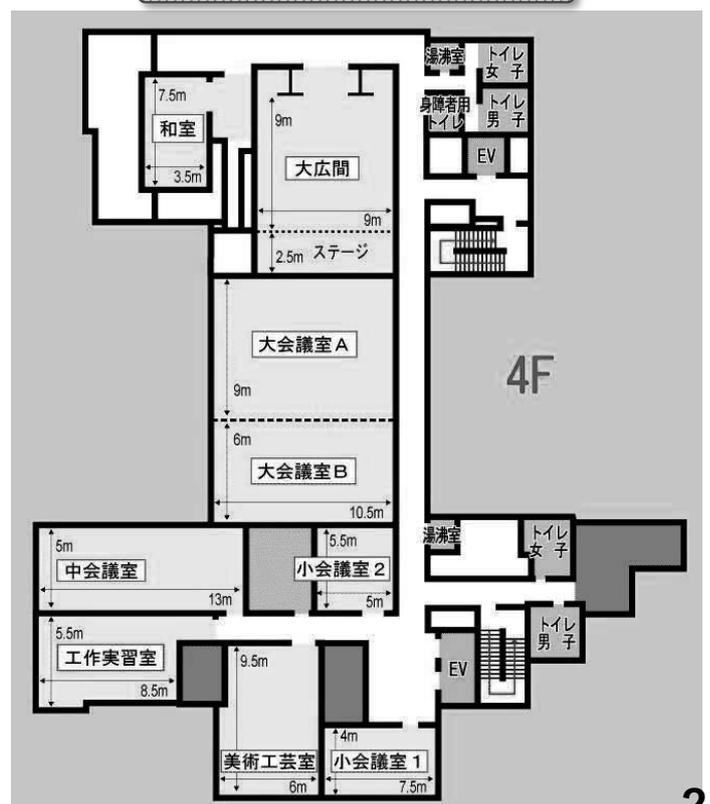
受付等について

- 受付を行いますので、必ず受付にてお声かけください。
- 「事業説明等」「ディスカッション」「講演」のうち、1項目のみの参加も可能です。
- 午前中は並行して、幼児教育アドバイザーに子育てに関する相談ができるコーナーを設けています。
- 親子室及び保育休憩室を用意しています。保育休憩室は4Fの和室です。4Fへはエレベーターを使用してください。
- ホール内では、スマートホン等の電源を切るか、マナーモードにする等のご協力をお願いします。

昼食について

- ホールでの飲食はご遠慮ください。
- 昼食場所は4Fの大会議室ABです。4Fへは、エレベーターもしくは階段を使用してください。
- ゴミ等は必ずお持ち帰りください。ご協力をよろしくお願いします。

アステールプラザ4F（平面図）



【事業説明】

「広島市が目指す幼児教育」

広島市教育委員会

平成29年度 広島市幼児教育シンポジウム
～誰もが安心して子どもを生み育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」の実現に向けて～
平成29年11月30日（木）

本日お話しする内容

- 1 広島市が目指す幼児教育について
- 2 幼児教育の推進体制構築事業について
- 3 求められる幼児教育アドバイザーの役割や姿
～幼児教育アドバイザーの質の向上に向けて～
- 4 幼児教育アドバイザーの活用状況について
- 5 幼児教育アドバイザーの活用促進に向けて
- 6 終わりに・・・

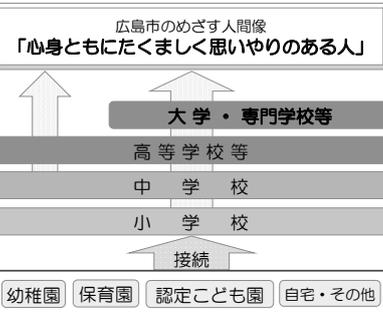
1 広島市が目指す幼児教育について

広島市が目指す幼児教育

誰もが安心して子どもを生み育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」にする。

そのため、幼児期の学校教育・保育施設等においては、更なる子育て支援の充実及び、より質の高い幼児教育を実践するとともに、すべての幼児期の学校教育・保育施設等が、広島市の目指す人間像である「心身ともにたくましく思いやりのある人」を育成することを目標に掲げ、すべての幼児に「豊かな感性」「他人を思いやる心」の育成を目指す。

(1) 幼児教育の役割



幼児期の教育は、

生涯にわたる人間形成の基礎が培われるきわめて重要なものであり、この時期に質の高い幼児教育が提供されることがきわめて重要である。

質の高い幼児教育は、

好奇心等にあふれる心豊かな子供を育て、健全で安定した社会を創造する。
※ 遊びや生活を通して育まれる幼児期の心情・意欲・態度は、義務教育以降の学びにつながり、生きる力の基礎となる。

(2) 本市の幼児教育の課題

各就学前教育・保育施設では、

- 子供の育ちの変化
 - ・コミュニケーション能力の不足
 - ・基本的生活習慣の欠如 等
- 家庭の教育力の低下
- 保護者ニーズの多様化 等

に対応するため、

- 幼児期の教育の今日的課題に対応するために必要な保育者（教員・保育士等）の能力や専門性の向上
- 特別な配慮を必要とする幼児への発達過程における継続的な支援体制
- 生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続
- 家庭や地域社会の教育力の向上及び子育てに関する保護者支援等に取り組む必要がある。



幼稚園、保育園、認定こども園、小学校等を含めた広島市全体の幼児教育に係る推進体制が必要



「幼児教育の推進体制構築事業」を活用

（文科省から委託事業：H28～30年度）

- 本市全体の幼児教育の推進に向け、教育委員会とこども未来局との連携・協働により、公私の幼稚園、保育園、認定こども園等と緊密な連携を図りながら、
- ・「保育者（教員・保育士等）の資質・能力の向上」
 - ・「特別支援教育に関する取組の推進」
 - ・「小学校教育との円滑な接続」
 - ・「家庭や地域の教育力の向上」などに取り組む。

2 幼児教育の推進体制構築事業について

9

【本市の調査研究テーマ】

- 「幼児教育センター」の設置に関する調査研究
- 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究

10

(1) 事業概要

① 「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」の設置

【構成員】 学識経験者、公立・私立各々の幼稚園・保育園代表、認定こども園代表、小学校代表、行政等

特に次の事項について専門的見地から幅広く意見聴取し、事業の円滑な実施を図る。

- 地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センター機能に関すること
- 幼児教育アドバイザーの育成・配置に関すること

11

② 「幼児教育支援協議会」の設置

【構成員】 こども未来局関係課長、教育委員会事務局関係課長、教育センター次長

本市の幼児教育センターとしての機能を担う協議会として設置し、次の事項について調査研究を行う。

- 本市に必要な幼児教育センター機能と役割
- 保育者（教員・保育士等）の資質・能力の向上に向けた体系的な研修
- 本市における幼児教育アドバイザーの役割や活用推進に向けた方策

12

③ 「幼児教育アドバイザー」の派遣

幼児教育の知識と経験豊富な人材を確保し、各園の依頼等に基づき、講演会、研修会、行事等に順次派遣

- 人材
大学教授や幼稚園長、保育園長、指導主事等の経験者等
- テーマ
・ 教育や保育の具体的な内容や支援方法
・ 保育者（教員・保育士等）の資質向上
・ 特別支援教育
・ 保幼小連携
・ 保護者支援
・ 組織マネジメント …… など

13

3 求められる幼児教育アドバイザーの役割や姿

～幼児教育アドバイザーの質の向上に向けて～

14

【平成29年度 幼児教育アドバイザーの配置状況】

- (1) 幼児教育アドバイザーの配置人数
 - ・ 幼児教育の知識と経験豊富な19名を幼児教育アドバイザーとして委嘱（参考：H28年度は15名）
- (2) 幼児教育アドバイザーの経歴等（最終経歴）

公立保育所長経験者（6人）	公立保育所主任保育士経験者（1人）
公立幼稚園長経験者（5人）	私立幼稚園長経験者（1人）
主任指導主事経験者（1人）	公立小学校長経験者（1人）
大学教授経験者（1人）	大学教授（現職：1人）
大学准教授（現職：1人）	大学講師（現職：1人）

15

広く求められる幼児教育アドバイザーを目指して

幼児教育アドバイザー連絡協議会を開催

【目的】

幼児教育アドバイザーが園を訪問し、適切な指導・助言等を行うために、幼児教育アドバイザー間での情報交換や情報共有を図るとともに、資質・能力の向上に向けた研修を行う。

平成28年度、幼児教育アドバイザーに対し、「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」において確認された「求められるアドバイザーの役割や姿」の共通理解を図った。

また、実際に訪問する際の留意点を含め、幼稚園、保育園における保育の実際に触れるため、訪問体験研修も適宜実施した。

16

本市における「幼児教育アドバイザー」の役割や姿

幼児教育アドバイザーは研修講師等の役割にあわせ、教師や保育士等の保育についての相談や悩みへの対応、園の良さ（強み）を今後更に伸ばしていくことに焦点をあてたアドバイスを行うなど、各園の変容を評価し、教師や保育士等の教育・保育に対する意欲が高まるような助言を行う。

17

広く求められる幼児教育アドバイザーを目指して

平成29年度は、アドバイザーの資質・能力の更なる向上に向け、平成29年4月から平成30年3月までの計12回、育成研修を組み込んだ連絡協議会の開催を計画実施している。

【開催日時】 毎月第3木曜日 14時～16時
【開催場所】 広島市教育センター

また、連絡協議会では、研修機会に関する情報提供を行い、各種研修会への参加もを行っている。

※ 平成29年度「幼児教育指導者養成研修」を2名の幼児教育アドバイザーが受講
(主催) 独立行政法人教職員支援機構 (期間) 10/31～11/2

18

(3) 幼児教育アドバイザー連絡協議会の開催状況



19

4 幼児教育アドバイザーの活用状況について

20

【平成28年度の実施状況】

(1) 幼児教育アドバイザーが訪問した施設数（11月～3月）

幼稚園		幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所		保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園	小学校
(93)	(1)	(16)	(198)		(4)		(2)	(141)	
19	1	0	11		0		0	0	
公 (19)	私 (74)	私 (1)	私 (16)	公 (89)	私 (109)	公 (1)	私 (3)	私 (2)	
18	1	1	0	10	1	0	0	0	

○ 訪問施設数…31園所（訪問回数：54回）

21

(2) 幼児教育アドバイザーの訪問回数（11月・1月～3月）

年月	公幼	私幼	公保	私保	私認こ	計
平成28年11月	4	—	—	—	—	4
平成29年1月	5	3	1	—	—	9
平成29年2月	25	1	6	1	—	33
平成29年3月	5	—	3	—	—	8
合計	39	4	10	1	—	54

※私立の幼稚園型認定こども園は私幼に含む

22

【平成29年度の実施状況】

□ 幼児教育アドバイザーが訪問した施設数（10月末現在）

幼稚園		幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所		保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園	小学校
(90)	(1)	(21)	(193)		(5)		(2)	(142)	
18	0	2	29		0		0	1	
公 (19)	私 (71)	私 (1)	私 (21)	公 (89)	私 (104)	公 (1)	私 (4)	私 (2)	
13	5	0	2	27	2	0	0	0	

○ 訪問施設数…50園所校（訪問回数：91回）

23

幼児教育アドバイザーが訪問した園からの報告等

〈私立幼稚園〉

- ・ 悩みに対して（特別支援教育）たくさんのアドバイスをいただいた。継続してアドバイスをいただきたい。
- ・ 大変よい学びの機会をいただいた。自分達の保育を外に向かって「聞く」ことについて、保育者には不安や恐れもあったが、実際に経験してみると大きな一歩になった。保育者自身が子供にとっての「環境」であることを肝に銘じ、研鑽を重ねていきたい。

〈私立保育園〉

- ・ 事前に講師と施設長、主任、支援専門員で詳細に打ち合わせをしたので、不安感なく、当日を迎えることができた。
- ・ 幼児教育アドバイザー訪問は、講演会や研修等のイメージがあり、依頼しにくいように思っていたが、日常の保育で支援していただけることが今回のことでわかり、とてもよかった。今後是非依頼したい。

(平成29年度「幼児教育アドバイザー訪問実施報告書」から抜粋)

24

幼児教育アドバイザーが訪問した園からの報告等

〈市立幼稚園〉

- ・ 職員一人一人の意見や考えを受け止めてもらえ、とても話しやすかった。意見を出しやすい雰囲気をつくって研修を進めていただいで感謝している。
- ・ 援助の在り方についての悩みに対して、具体的、専門的に話をしてもらるので、前向きに取り組む気持ちになった。

〈広島市保育園〉

- ・ 園で研修できるので、日頃研修に参加しにくい職員も参加でき、保育の資質向上につながった。よい事業だと思う。
- ・ 夜間の勉強会を希望する職員が多い。再度依頼したい。

(平成29年度「幼児教育アドバイザー訪問実施報告書」から抜粋)

25

5 幼児教育アドバイザーの活用促進に向けて

26

(1) 幼児教育アドバイザー訪問の活用例

広島市広報番組

週刊ひろしまスター

平成29年8月29日(火) 22:55~21:59 放送

27



(2) 私立幼稚園・保育園の活用促進に向けて

訪問先
幼稚園、保育園、認定こども園はもちろん、小学校へも訪問します。

訪問日時
月～土曜日の9時～17時を原則としています。(なお、訪問時間は相談に応じます。)

対象
教職員・保育者・保護者等

費用
幼児教育アドバイザー訪問に費用はかかりません。

【幼児教育アドバイザーの具体的な活用方法】
★講演会 ★研修会 ★行事などで！
(テーマ) ○教育・保育の内容・支援方法 ○保育者の資質向上
○特別支援教育 ○幼児教育・保育の研修 ○保護者支援
○組織マネジメント ○幼小連携 ○発達や学びの連続性 等

29

幼児教育アドバイザーの様々な活用について

- 園内研修の講師等
- 保護者講演会
- 保護者相談（発達等に係る相談業務）
- 子育て支援（未就園児の広場等）
- 子育てサークル等への支援
- 中学生等の職場体験に係る支援
- 小学校への接続に係るサポート（小学校との連携コーディネーター）

30

6 終わりに・・・

31

広島市が目指す幼児教育

～誰もが安心して子どもを産み育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」の実現に向けて～

幼稚園、保育園、認定こども園との連携を図り、幼児教育・保育の充実に向けた取組を一層推進し、子供たちの笑顔と声があふれる、子どもと子育てに優しいまちの実現を目指します。

32

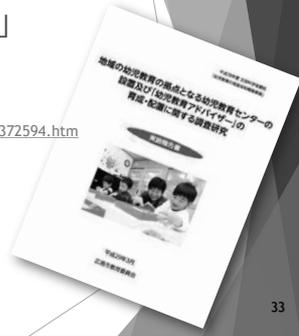
＜参考＞

「幼児教育の推進体制構築事業」

文部科学省ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1372594.htm

- トップ > 教育 > 幼児教育・家庭教育
- > 幼児教育の振興 > 調査研究事業
- > 幼児教育の推進体制構築事業

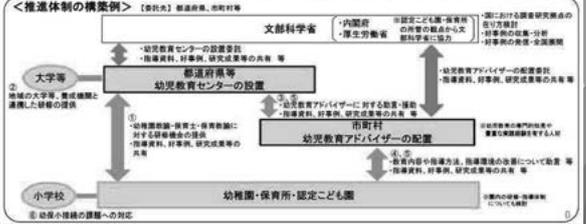


幼児教育の推進体制構築事業

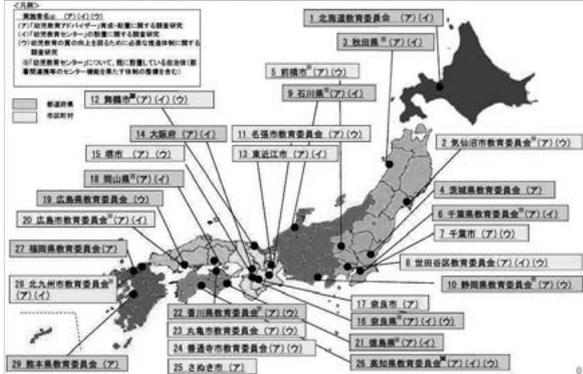
平成29年度事業額
143億万円(203億万円)

- すべての子供に質の高い幼児教育の提供を目指す、子ども子育て支援新制度の施行により、幼児教育の提供体制の充実が図られているところであるが、提供される幼児教育の内容面についても充実を図る必要がある。
- 幼稚園・保育所・認定こども園を通じて、幼児教育の更なる質の充実を図るため、地域の幼児教育の拠点となる「幼児教育センター」の設置や、幼稚園・保育所・認定こども園等を巡回して指導等を行う「幼児教育アドバイザー」の育成・配置など、以下の課題等への効果的な対応のために適切な、地方公共団体における幼児教育の推進体制を構築するためのモデル事業を行い、好事例を収集・分析した上でその成果を全国展開する。

- ① 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ② 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ③ 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ④ 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ⑤ 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ⑥ 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方



幼児教育の推進体制構築事業 採択先一覧



「平成29年度 広島市幼児教育シンポジウム」に関する資料については、12月4日（月）以降に広島市HPに掲載予定です。

下記のURLに掲載予定です。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1507600766144/index.htm>

- 広島市ホームページ
- > 子育て・教育 > 教育委員会 > 学校教育の推進
- > 幼稚園教育 > 幼児教育の推進体制構築事業